Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-FCT-04
Project	**Crime prevention approaches, online and off-line, tackling the nexus between addictions and crime** HORIZON-CL3-2026-01-FCT-04
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 依存症と犯罪との関連性、および犯罪の要因についての理解を深めること； ● 欧州の警察当局および関連する市民社会組織（または非政府組織）に対し、依存症および関連犯罪を防止するための、研修カリキュラムを含む革新的かつ効果的な解決策を提供すること。特に、リスクにさらされている若者に重点を置くこと； ● 依存症関連犯罪への対応における欧州刑事司法制度のアプローチの近代化に向けた、エビデンスに基づく支援； ● 地域社会の依存症に対する回復力、治安および安全性を高めるため、主に欧州の警察当局と市民社会組織（または非政府組織）といった異なるステークホルダー間の新たな連携アプローチ。 スコープ： ギャンブル、薬物やアルコールの乱用といった依存症と犯罪との間には、密接かつ複雑な関係が存在する（例えば、犯罪者は犯罪をする際に薬物の影響下にあることが多く、ギャンブラーや薬物使用者は借金や薬物の代金を工面するために犯罪に手を染める）。本テーマにおいて、採択される提案は、依存症と犯罪の具体的な関連性を分析し、関係する地域社会の基本的権利を尊重し、スティグマを生じさせない言葉遣いを用いることを前提として、依存症そのものだけでなく、オフラインおよびオンラインにおける依存症に関連する犯罪の予防に向けた、関連する最新の手法やツールを開発することを目的とするものである。また、地域社会の依存症に対する回復力、治安および安全性を高めることを目的として、警察当局、市民社会、国や地方の機関、民間団体、専門の心理学者など、さまざまな地域社会のステークホルダー間における新たな連携手法が開発されることが期待されている。この取り組みでは、リスクにさらされている若者、刑事司法制度、犯罪の要因、そして依存症を理由に軽犯罪を犯すことから、次第に組織犯罪に関与していくまでの経緯に重点を置くべきである。このテーマの中で提案される活動は、社会科学的研究と技術開発・応用を論理的に組み合わせ、多角的な視点からこの課題に取り組むべきである。 したがって、このテーマにおいては、関連する研究活動の社会的影響力を高めるために、有意義かつ重要な成果を生み出すべく、社会科学・人文科学（SSH）の各分野による効果的な貢献、SSH の専門家や機関の参画、ならびに SSH の関連専門知識の活用が不可欠である。また、ジェンダーに配慮したアプローチを取り入れることで、依存症、犯罪、そしてジェンダーの間の関係をより深く理解できるようになり、男性、女性、および社会的弱者グループの具体的なニーズに対応した、より効果的な介入策につながる。 提案書には、プロジェクト終了後の今後の展開として、国内および EU レベルでの将来的な導入拡大および規模拡大に向けた計画を概説すること。提案においては、先行研究も考慮し、必要に応じてそれを踏まえた上で、重複を避けるようにすべきである。このテーマで採択された提案間の連携を図り、重複を避け、相互補完性を活かし、さらなる波及効果を生み出す機会を最大限に活用すべきである。 さらに、このテーマの下で資金提供を受ける提案については、将来のイノベーションの普及を促進することを目的として、成果の検証を含め、プロジェクト期間中に欧州連合薬物庁（EUDA）とどのように連携していくかについて、具体的な構想を示すことが期待されている。 警察当局の研修に関する事項については、同庁が資金援助の申請を見送ることを条件として、

	CEPOL との間で、採択された提案に基づく協力が行われることが期待される。最後に、提案書には、「犯罪・テロ対策」の項目における「はじめに」で示された、該当するすべての考慮事項が盛り込まれることが求められる。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトに期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 5 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照)。